

あの人、結婚を具体的に考えはじめるきっかけ

複式占星学で診断すると、生まれたときの太陽の星座（おひつじ座）から数えて第4番目のかに座があの人家庭運を示しています。つまり、あの方は、上司や親戚からお見合い話を持ちかけられたときに、結婚を現実のものとして受け入れ始めると示されています。これまでは、独身ということに満足し、不自由もしてなかったはずですが、配偶者のいる生活というものを、改めて考えさせられるからです。結婚を意識し始めると、急に、自分の生まれ育った環境を、思い出したり、両親のことを懐かしく思うようになっていたりします。また、お世話になった恩師に会いたくなったり、同窓会に参加してみたいと思うようになります。

だからといって、すぐに結婚を現実のものと考えようにはなりません。今後、あの方が、結婚を現実のものとして実現していくには、家庭をもった友人や子供が生まれた先輩を訪問して、温かい家庭を実感することが必要と思われる。結婚を司る神からのメッセージは「今の職場と住んでいる地域を愛し、子供達を愛せよ」です。あの方が、結婚という峠を越えるには、子供は国の宝だと認識することが必要です。

結婚生活を円満にするために、あなたが許すべき相手の欠点

あの方が生まれつきもっている欠点や不得意な部分は、土星が入っているいて座で示されています。つまり、あの方は、自分自身の能力や将来性といったことに対し、確固たる自信を持つことができないかもしれませんが、それを攻めるのではなく、許すべき特徴だと理解することです。仕事上の人間関係では、さほど目立つことのない弱点ですが、結婚して子供ができた場合に、弱点となる場合があります。人の価値は、社会的な地位や能力で決定されるものではないことを、あの人に教え、希望を持たせ元気づけるのは、あなたの役目です。

あの人あなたの愛によって成長するとどう変化するか？

あの方が本来生まれ持った生命のエネルギーは太陽の入っているおひつじ座で示されています。つまり、一見、思慮分別があり、穏やかそうに見えるあの人ですが、後先考えずに即断即決に走ってしまう傾向があります。困難にぶつかることがわかっていながらあの人に、注意をしようとしても、人の声には耳を貸さず、自分の行く手を阻まれるほど意固地になって失敗してしまいます。あの方の口から「こんなはずじゃなかった」と、過ぎ去ったような言葉がでることもあるでしょう。しかし、あなたの愛によって、徐々に相手の気持ちを察することができるように変化し始め、とくに弱者の味方を積極的にするようになり、多くのものを皆で分け与えるようになります。

あの人からプロポーズされても受け入れてはいけない状況とは？

もしも、あの方が即断即決をまったくする様子がなく、常に誰かに依存して生きているようであれば、また、やる前からあれこれと悩むような傾向が強くなるようであれば、あの方は「独立心」というおひつじ座の個性を捨てている可能性があります。

そんな状態からは、どんなにあなたが愛情を投入したとしても、あの方が変化することはありません。たとえ、あの人からプロポーズをされたとしても、あなたは、それを受け入れるべきではありません。自分を信じられないあの人を救えるのはあの人だけなので、あなたにできることは、あの方が、悩む前に実行したほうが良い結果が出ると思えるようになるまで見守ってあげることだけです。